

ヤマザキ動物専門学校

ヤマザキ動物専門学校
平成29年度自己点検・自己評価表

平成30年6月5日

1、学校の教育目標

(1)建学の精神

「生命への畏敬」

「職業人としての自立」

“人間は、地球上に存在する多種多様な生命に対し、尊敬の心を持ち、生態系の摂理の中で生かされている生命であるという思想のもと、共に生きるものに限りない愛を注ぐ” この精神を通して調和のとれた平和な社会の建設に寄与する豊かな人間性と幅広い視野を持つ人間教育を行う。

(2)教育理念

「生命を生きる」

動物愛護の精神のもと、人間が自分たちよりも小さな弱い立場の生命に思いやりの心を忘れず、動物たちと豊かに共生すること。

「礼節や思いやりの心を大切にする」

全ての学習を通して、正しい人生観、社会観、自然観の思想を背景に、学問・技術の修得にとどまらず、礼節や思いやりの心を育み、人として備えるべき教養を重視。

2、本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1)安定的な入学者の確保

厳しい学生募集環境下において同分野の大学・専門学校との差別化と学生募集に一層の努力と工夫が求められる。

(2)退学者の低減

各学年において過去の退学率を下回るよう努力する。

(3)教育環境の再整備

平成 29 (2017) 年 4 月の神泉校舎売却に伴う教育環境整備の一環として、平成 28 (2016) 年度より、渋谷 1 号館 4 階、7 階教室及び 9 階学生ラウンジが大学との共有施設として増え可動している。本校舎の学習環境インフラについて、一部が経年劣化しているため順次入れ替えが必要である。本校舎 3 階をクッキングルームおよびデザインルームに改修工事を行った。設備を整え実習教室として可動している。また、クッキングルームが空いている時間帯は学生ラウンジとしても可動している。

(4)学費支援

学費分納支援、姉妹兄弟・親子入学支援、特待生制度を導入して受験生が受験しやすい環境を整えている。

3、評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
1-1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4 ③ 2 1	【3-1-1-1】 【3-1-1-2】 【3-1-1-3】
1-2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4 ③ 2 1	【3-1-2-1】 【3-1-2-2】 【3-1-2-3】
1-3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1	【3-1-3-1】 【3-1-3-2】 【3-1-3-3】

①課題・今後の改善方策

- ・カリキュラムポリシーとディプロマポリシーが未策定である。
→カリキュラムポリシーとディプロマポリシーは、専門学校設置基準において必須ではないが、将来的に策定を目指していく。

②特記事項

- ・学校の理念・目的は、学校案内、ホームページなどに記載し、学校説明会にて説明している。在校生には入学年次のオリエンテーション、フレッシュマンキャンプ、創始者記念礼拝時にて自校教育として実施している。

2. 学校運営		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
2-1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が作成されているか	4 ③ 2 1	【3-2-1-1】 【3-2-1-2】
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか（教務・財務意思決定システム制度は整備されているか）	4 ③ 2 1	【3-2-2-1】 【3-2-2-2】 【3-2-2-3】
2-3	学校運営に関する（事業計画、予算編成、教育活動等）に対する評価を結論として取りまとめた評価報告書を作成しているか	4 3 ② 1	【3-2-3-1】
2-4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	4 ③ 2 1	【3-2-4-1】 【3-2-4-2】 【3-2-4-3】 【3-2-4-4】 【3-2-4-5】 【3-2-4-6】 【3-2-4-7】 【3-2-4-8】 【3-2-4-9】 【3-2-4-10】
2-5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1	【3-2-5-1】 【3-2-5-2】 【3-2-5-3】 【3-2-5-4】
2-6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 ② 1	【3-2-6-1】 【3-2-6-2】

			【3-2-6-3】
--	--	--	-----------

①課題・今後の改善方策

- ・自己点検・評価報告書を作成しているが、評価報告書は作成していない。
→自己点検・評価表とあわせ将来的に「評価報告書」の作成についての検討を始める。

②特記事項

- ・学校関係者評価委員会の議事録を公表している。
- ・自己点検・評価表を作成し公表している。

3. 教育活動		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
3-1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 ③ 2 1	【3-3-1-1】 【3-3-1-2】 【3-3-1-3】
3-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 ③ 2 1	【3-3-2-1】
3-3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 ② 1	【3-3-3-1】 【3-3-3-2】 【3-3-3-3】 【3-3-3-4】 【3-3-3-5】
3-4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	4 ③ 2 1	【3-3-4-1】
3-5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	4 ③ 2 1	【3-3-5-1】
3-6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容及びその評価方法、手段、スケジュールは適切か）	4 3 2 ①	
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 ② 1	【3-3-7-1】
3-8	成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3 ② 1	【3-3-8-1】 【3-3-8-2】
3-9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 3 ② 1	【3-3-9-1】
3-10	動物看護職関連分野との連携による優れた教員（本務・兼務含む）を確保するための活動が行われているか	4 ③ 2 1	【3-3-10-1】
3-11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1	【3-3-11-1】 【3-3-11-2】
3-12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設定されているか	4 3 ② 1	【3-3-12-1】 【3-3-12-2】 【3-3-12-3】
3-13	講義に関し機構推奨のコアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	3 ② 1	【3-3-13-1】 【3-3-13-2】 【3-3-13-3】
3-14	実習に関し、機構推奨コアカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	③ 2 1	【3-3-14-1】 【3-3-14-2】 【3-3-14-3】
3-15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4 ③ 2 1	【3-3-15-1】 【3-3-15-2】 【3-3-15-3】

ヤマザキ動物専門学校

3-16	動物を使用する実習、実験棟に関し、これらに関する倫理・動物の福祉について規則やマニュアルが整備され、公表されているか	4 3 ② 1	【3-3-16-1】 【3-3-16-2】 【3-3-16-3】 【3-3-16-4】 【3-3-16-5】 【3-3-16-6】
3-17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	③ 2 1	【3-3-17-1】 【3-3-17-2】 【3-3-17-3】 【3-3-17-4】 【3-3-17-5】

①課題・今後の改善

- ・一部の科目について体系的に編成されていない。
→平成 31 年度より導入される機構推奨の新コアカリキュラムに対応するため、カリキュラム編成小委員会で検討する。
- ・専門学校動物実習計画書の作成に取り掛かっている途中である。
→平成 30 年度より専門学校動物実習計画書の適正な運用を図る。

②特記事項

- ・教務委員会を設置し、充実を図っている。
- ・産業界の人材を教員として採用している。

4. 学修成果		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
4-1	就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1	【3-4-1-1】 【3-4-1-2】
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1	【3-4-2-1】
4-3	入学者に対する卒業率はどうか	4 ③ 2 1	【3-4-3-1】
4-4	在校生の社会的な活動に対し、それを把握し評価する体制があるか	4 ③ 2 1	【3-4-4-1】 【3-4-4-2】 【3-4-4-3】
4-5	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4 3 ②	【3-4-5-1】 【3-4-5-2】 【3-4-5-3】
4-6	教育・訓練及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか	4 3 ② 1	【3-4-6-1】 【3-4-6-2】 【3-4-6-3】
4-7	総合臨床実習（インターンシップ）について、依頼先の獣医師等と十分なコミュニケーションをとり、その内容、評価法等を事前に決め、評価しているか	4 ③ 2 1	【3-4-7-1】 【3-4-7-2】 【3-4-7-3】 【3-4-7-4】

①課題・今後の改善方策

- ・研修内容は動物病院研修項目として提案しており、課外実習評価書にて評価を行っているが、実際の実施内容は研修先にゆだねている。
→評価表の内容について研修先からヒアリングを行い、研修内容について検討する。

②特記事項

- ・就職支援課職員がインターンシップ前に直接訪問し、事前説明に伺っている。インターンシップ後はクラスア

ヤマザキ動物専門学校

ドバイザー（担任）、アシスタントアドバイザー（副担任）が訪問し学生の様子をヒアリングしている。

5. 学生支援		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備され、それはきちんと学生や保護者に周知されているか	4 ③ 2 1	【3-5-1-1】 【3-5-1-2】
5-2	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2	【3-5-2-1】 【3-5-2-2】 【3-5-2-3】
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2	【3-5-3-1】 【3-5-2-2】 【3-5-2-3】
5-4	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	4 ③ 2 1	【3-5-4-1】 【3-5-4-2】
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2	【3-5-5-1】
5-6	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	4 ③ 2	【3-5-6-1】 【3-5-6-2】
5-7	保護者との連携は適切か	4 3 ② 1	【3-5-7-1】 【3-5-7-2】
5-8	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1	【3-5-8-1】 【3-5-8-2】 【3-5-8-3】
5-9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2	【3-5-9-1】 【3-5-9-2】 【3-5-9-3】 【3-5-9-4】 【3-5-9-5】
5-10	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2	【3-5-10-1】 【3-5-10-1】

①課題・今後の改善方策

- ・保護者に対する対応は個別に対応していることがほとんどで、消極的な対応である。
→平成 29（2017）年度より希望者に対し、保護者面談を開始した。今後も継続していく予定である。

②特記事項

- ・なし

6. 教育環境		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応しているよう整備されているか	4 ③ 2	【3-6-1-1】
6-2	防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1	【3-6-2-1】 【3-6-2-2】 【3-6-2-3】
6-3	実習室には検査に必要な設備が備わっているか	4 ③ 2 1	【3-6-3-1】
6-4	基本的な動物看護実習に用いる動物を使用できる実習室が備わっているか、また必要な数の動物が使用できるか	4 ③ 2 1	【3-6-4-1】 【3-6-4-2】

ヤマザキ動物専門学校

6-5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4 ③ 2 1	【3-6-5-1】 【3-6-5-2】
6-6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	4 ③ 2 1	【3-6-6-1】
6-7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4 ③ 2 1	【3-6-7-1】 【3-6-7-2】 【3-6-7-3】
6-8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	4 ③ 2	【3-6-8-1】

①課題・今後の改善方策

- ・校舎は経年劣化による空調設備や校舎内の壁面、水回りに不具合の出た箇所が見受けられる。また、隣接するレインボーホールも同様に、壁面や床材の劣化が見受けられる。
→授業等に支障が出ないよう壁面補強や環境設備の改善・強化を検討する。

②特記事項

- ・現時点での直接的な設備の不備は見当たらないため、計画的に改善・修繕を図る。
- ・防災・危機管理に関しては、専門学校防災計画に基づいた体制が整備・実施されている。
- ・毎年、避難訓練を実施し学生・職員の避難経路の確認や危機管理の指導を行っている。

7. 学生の受入れ募集		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
7-1	学生募集活動は、適性に行われているか	4 ③ 2 1	【3-7-1-1】 【3-7-1-2】 【3-7-1-3】
7-2	学納金は妥当か	4 ③ 2 1	【3-7-2-1】 【3-7-2-2】
7-3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	4 3 ② 1	

①課題・今後の改善方策

- ・障がい等、特別な措置が必要な学生への対応について明確に定義されておらず、個別に対応し共有している。
→過去の入学者実績に鑑み、適切な対応を定め共有する。

②特記事項

- ・なし

8. 財務		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1	【3-8-1-1】 【3-8-1-2】
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	【3-8-2-1】 【3-8-2-2】
8-3	財務について会計検査が適正に行われているか	③ 2 1	【3-8-3-1】 【3-8-3-2】
8-4	財務情報の公開の体制整備はできているか	4 ③ 2	【3-8-4-1】 【3-8-4-2】

①課題・今後の改善方策

- ・安定的な学生募集及び経費の効率化、見直しを進める。

ヤマザキ動物専門学校

②特記事項

- ・学園全体として、平成 29（2017）年度経常的収支はバランスが取れている。
- ・専門学校においては、経常的収支・臨時的収支ともバランスが取れている。
- ・予算編成後、より実態に合わせた補正予算を年度内に実施している。
- ・会計検査は適正に実施されている。
- ・財務情報はホームページ、保護者への郵送等実施している。

9. 教育の内部質保証システム		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 ③ 2	【3-9-1-1】 【3-9-1-2】 【3-9-1-3】
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2	【3-9-2-1】 【3-9-2-2】
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1	【3-9-3-1】
9-4	自己評価結果を公開しているか	3 2 ①	【3-9-4-1】
9-5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	4 3 2 ①	【3-9-5-1】
9-6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	4 3 2 ①	【3-9-6-1】
9-7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか	4 3 ② 1	【3-9-7-1】 【3-9-7-2】 【3-9-7-3】 【3-9-7-4】

①課題・今後の改善方策

- ・自己点検評価をホームページ上で公開していない。
→平成 29（2017）年度自己点検評価の公開に努める。
- ・コンピテンシー評価表及び職務分掌の作成をし、検討を始める。
- ・評価目標・評価範囲の作成を検討する。

②特記事項

- ・授業評価アンケートを実施している。
- ・人事考課を実施している。

10. 社会貢献・地域貢献		優良・4、適切・3、 要改善・2、不適切・1	エビデンス (文書名又は 文書番号)
10-1	学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献、学生のボランティア活動を奨励や支援、地域に関する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1	【3-10-1-1】

①課題・今後の改善方策

- ・さらなる地域社会との交流を促進するため、学校文化祭、ボランティアの参加勧誘や地域に対する公開講座、教育訓練についても積極的な実施などを図る。
→ボランティア活動は本校の学生ボランティアを中心に活動してきたが、今後は教職員学生のみでの参加にとどまらず地域の方々と連携し積極的に実施していく。また、地域に対する公開講座、教育訓練についても積極的に実施していく。

②特記事項

- ・動物愛護協会他、動物関連企業等への協力を実施している。学校法人ヤマザキ学園は（公社）日本動物福祉協

ヤマザキ動物専門学校

会新東京支部を拝命し、保護犬、ネコ等の譲渡ボランティア活動を通して社会貢献、地域貢献を行っている。
また、1年生は公益財団法人日本動物愛護協会主催事業へのボランティア活動を必修としており、教職員も本校舎近隣4社と協力して近隣清掃ボランティアを行っている。

- 飼い主の希望に応じてはイヌやネコの飼育やしつけ等に関する相談に応じ、指導、アドバイスをを行っている。